

50年以上続く住民楽団を目指して!



楽団四季 Jolly forest Jazz orchestra
(ジョリー フォレスト ジャズ オーケストラ)

事務局長

関内 恵美 さん

「ジャズは奥が深くて面白い!
演奏中は夢中です」とにこやかに語る関内さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.100

山茶花が咲きはじめ、柿や柚子が黄色く色づき秋が深まっていく10月。お陰様で「Minole Lifeのすすめ」は100号を迎えることが出来ました。たくさんの方の笑顔や、ピンチをチャンスに変えた人等々。まるで宝石箱のような『みのれ』で輝く人々を紹介しています。今回は、楽団四季ジョリーフォレストジャズオーケストラの事務局長で、テナーサクソスを担当する石岡市にお住いの関内恵美さん取材します。

4thライブは

自分たちが

一番楽しむかも?!

関内さんがみのれに関わるようになったのは、既にみのれに関わっていた友人に誘われ、演劇ファミリーMYUのスタッフとして参加したことがきっかけでした。「こけら落とし公演の『田んぼの神様』から『光れ!』まで裏方スタッフとして関わっていました。みのれが開館した翌年に、楽団四季を立ち上げるための準備委員会ができて、ビックバンドをつくることは決まっていました。当時、みのれの職員から誘われ、若い頃に少し楽器をやっていたというだけで、楽団立ち上げの委員に加わりましたが、周りは吹奏楽の経験者や楽器に携わっている凄い人ばかりでした」と当時の様子を話してくれました。

楽団にはギター担当として入ったんですよ。でも、フォークとジャズのコードは全然違うんです。おまけに指の押さえ方も違ったり、譜面を見てもどんな曲だか全く分からない状態。ビックバンドってどんな曲を弾くんだろ」と不安でいっぱいだったそうです。

12月6日の4thライブに向けて聞いてみると、「楽団員は、演出・広報・カフェのいずれかの担当になりライブをつくり上げます。今回のライブは、『お客様も自分たちも楽しむ!』というコンセプトなので、とにかく楽しい空間を作りたいと思います。ゲストも迎えるので、さらに盛り上がるライブになること間違いなしです! また、飲食をしながらジャズを楽しむ企画もなっていますので何倍も楽しめますよ」と話す関内さんがきらきらと輝いていました。

(藤田佐知子)